

認定書

国住参建第 677 号
令和 8 年 6 月 30 日

因幡電機産業株式会社
代表取締役社長 玉垣 雅之 様

国土交通大臣 金子 恭之

下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

- 認定番号
PS060WL-1348
- 認定をした構造方法等の名称
被覆材付ポリエチレン管／化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート・シーリング材充てん／壁準耐火構造／貫通部分
- 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。
令和 7 年 10 月 1 日より大臣印の押印が廃止されております。

別 添

1. 構造名：
被覆材付ポリエチレン管／化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート・シーリング材充てん／壁準耐火構造／貫通部分

2. 寸法等の仕様：
寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ550mm以下)
	面積	0.238m ² 以下
被覆材付配管と壁との隙間の寸法 (クリアランス)		9～25mm
占積率 (開口面積に対する被覆材付配管の断面積の 総合計の割合)		93.2%以下
貫通する壁の構造等		建築基準法施行令第112条第2項に掲げる基準に適合する壁構造(60分)又は 建築基準法第2条第七号の規定に基づく壁構造(60分) (ただし、強化せっこうボード及び軽量鉄骨下地に限る) 厚さ 100mm以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項 目		仕 様	
熱膨張性 シート		材料	化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート
		寸法	総厚さ：6mm以上 幅：55mm以上(埋設部45mm以上)
		使用箇所	配管の両側に1周以上巻き付け
	表面材 (充てん材側)	材料	アルミニウムテープ(裏張材：あり又はなし) 裏張材の材質：ポリオレフィン系又はガラス繊維系
		厚さ	0.25(±0.1)mm以下
	シート	材料	黒鉛含有ブチルゴムシート
		厚さ	6mm以上
		密度	
		組成 (質量%)	
	裏面材 (配管側)	材料	仕様：あり又はなし 種類：①～⑦の一 ①ポリオレフィン系樹脂 ②ポリエステル系樹脂 ③塩化ビニル系樹脂 ④シリコン系樹脂 ⑤ナイロン系樹脂 ⑥不織布 ⑦アルミガラスクロス
		厚さ	0.05(±0.03)mm以下
充てん材	材料	建築用シーリング材(JIS A 5758) 種類：シリコン系	
	充てん量	被覆材付配管と躯体(壁)との隙間に密に充てん (壁の両側に22mm以上)	

表3 配管の仕様

項目	仕様					
配管	ポリエチレン管 (JIS K 6761、JIS K 6762、JIS K 6774、ISO 4427、日本水道協会規格：JWWA K 144、建築設備用ポリエチレンパイプシステム研究会規格：PWA001、PWA005、配水用ポリエチレンパイプシステム協会規格：PTC K 03、給水用ポリエチレンパイプ協会規格：JP K 001、JP K 002、JP K 003)		外径	φ 450mm 以下	厚さ	40.9mm以下
被覆材 (後付タイプ)	材料	表面材付被覆材				
	外径	φ 500mm以下(仕上がり外径)				
	使用方法	配管に1周以上巻き付けて使用(壁の両側から100mm以上飛び出し)				
	表面材	材料	仕様：あり又はなし ①～③の一 ①アルミニウムはく張クラフト紙 ②アルミニウムはく張割符 ③アルミニウムはく張ガラスクロス			
		厚さ	0.2mm以下			
	基材	材料	①～③の一 ①ロックウール(JIS A 9504) ②アルカリアースシリケートウール(AES) ③リフラクトリーセラミックファイバー(RCF)			
		厚さ	25～50mm			
密度		40kg/m ³ 以上				

4. 副構成材料の仕様：

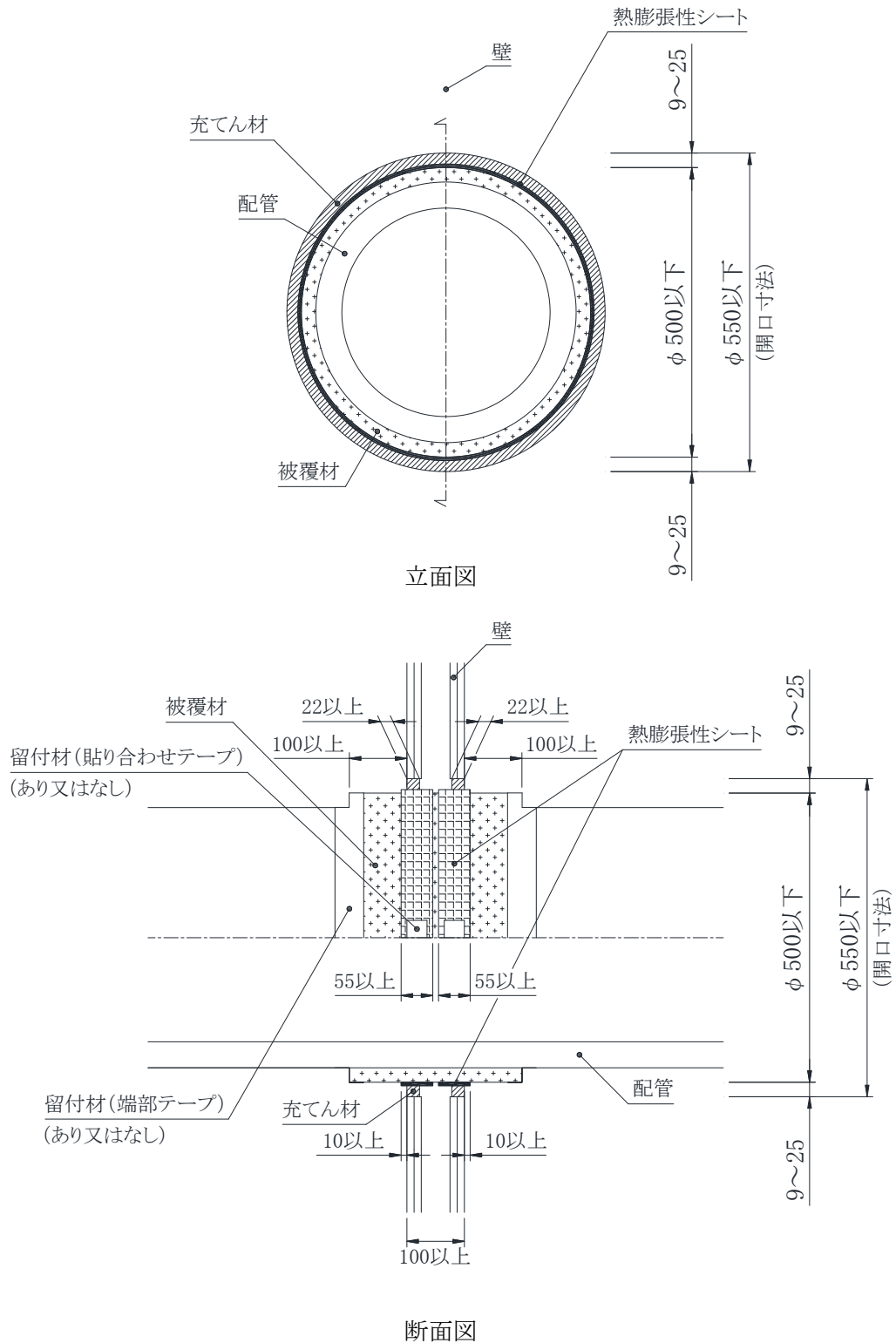
副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

項目	仕様		
留付材	貼り合わせテープ	材料	仕様：あり又はなし ①～⑥の一 ①ポリオレフィン系 ②ポリエステル系 ③ポリ塩化ビニル系 ④紙 ⑤アルミニウム系 ⑥アルミガラスクロス
		寸法	①～④ 厚さ：0.2mm以下、幅：50mm以下 ⑤、⑥ 厚さ：0.15mm以上、幅：50mm以上
		使用方法	必要に応じて、熱膨張性シート及び被覆材の固定に使用
	端部テープ	材料	仕様：あり又はなし ①又は② ①アルミニウム系 ②アルミガラスクロス
		寸法	厚さ：0.15mm以上、幅：50mm以上
	使用方法	必要に応じて、被覆材の端部に巻く	

5. 構造説明図：
 構造説明図を図1及び図2に示す。

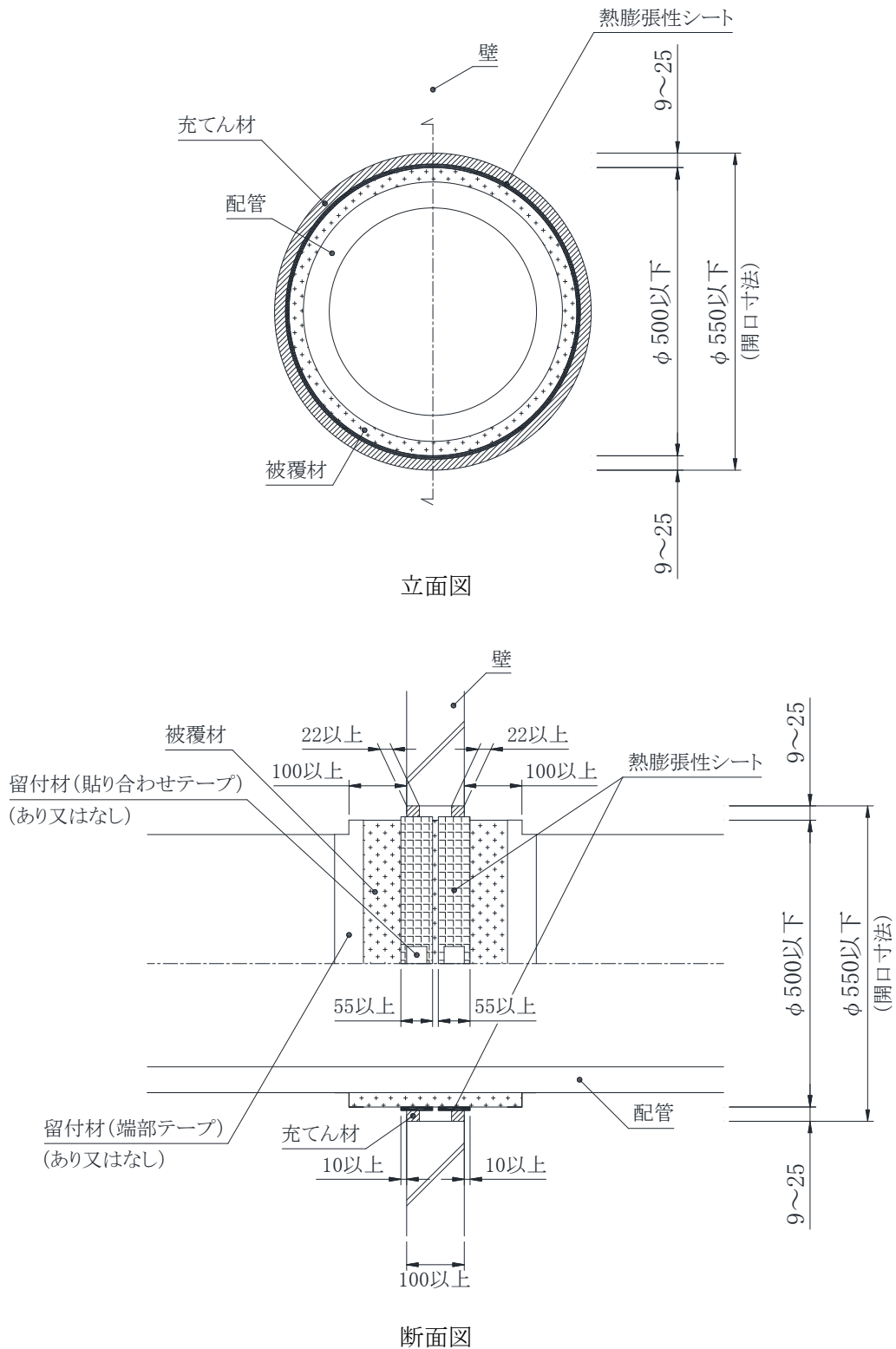
単位 mm



中空壁の場合

図1 構造説明図(施工図)

単位 mm



中空壁以外の壁の場合

図2 構造説明図(施工図)

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

- (1) 貫通穴の設定
被覆材仕様、配管寸法及び占積率等を考慮して貫通開口部を設ける。
- (2) 配管の設置
配管を設置して支持・固定する。
- (3) 被覆材の巻き付け
配管に被覆材を1周巻き付け、壁の両側から100mm以上飛び出すように貫通部に設置する。
必要に応じて、被覆材の端部を留付材(端部テープ)で固定する。
- (4) 熱膨張性シートの巻き付け
熱膨張性シートを配管に巻き付けた被覆材の両側に1周以上巻き付け、留付材(貼り合わせテープ)で熱膨張性シートを固定する。熱膨張性シートの長さが足りない場合は、隙間が生じないように留付材(貼り合わせテープ)で繋げても良い。
なお、熱膨張性シートと被覆材の間に隙間が生じないように注意する。
- (5) 熱膨張性シートの位置
熱膨張性シートを45mm以上埋め戻すようにスライドさせる。
熱膨張性シートの幅が55mmを超える場合は、超えた分が壁から飛び出しているも良い。
- (6) 充てん材の埋め戻し
熱膨張性シートと躯体の開口部の隙間に、壁厚方向22mm以上充てん材を密に充てんする。
埋め戻し部に隙間が無いことを確認して仕上げる。

注意事項

被覆材(基材)に使用される、アルカリアースシリケートウール(AES)は、要求耐火性能時間に応じて加熱線収縮率3%以下であることが確認されたものとする。